

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成26年7月10日 (2014.7.10)

【公表番号】特表2013-533469(P2013-533469A)

【公表日】平成25年8月22日 (2013.8.22)

【年通号数】公開・登録公報2013-045

【出願番号】特願2013-512599(P2013-512599)

【国際特許分類】

G 0 1 N 33/543 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

C 4 0 B 30/04 (2006.01)

G 0 1 N 37/00 (2006.01)

C 1 2 Q 1/02 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 33/543 5 2 1

G 0 1 N 33/53 K

C 4 0 B 30/04

G 0 1 N 37/00 1 0 1

C 1 2 Q 1/02

【手続補正書】

【提出日】平成26年5月23日 (2014.5.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 2 6 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 2 6 4】

図 2 0 A に示されるように、基板 2 0 0 の捕捉表面領域 2 1 4、2 1 5 において三元サンドイッチ構造が形成される。サンドイッチ構造は、( i ) 基板 2 0 0 に結合したプローブ 3 0 0'、( i i ) 位置保持分子 2 2 7、及び ( i i i ) 粒子 8 0 0 上に固定された粒子結合プローブ 3 2 0 とを含む。位置保持分子 2 2 7 は、それぞれ基板結合および粒子結合プローブ 3 0 0、3 2 0 の両方に対する特異的親和性を有する。位置保持分子 2 2 7 は、標的試料内の対象の分析物のものと同様のプローブ 3 0 0、3 2 0 に対する結合ポテンシャルを有することができる。

【手続補正 2】

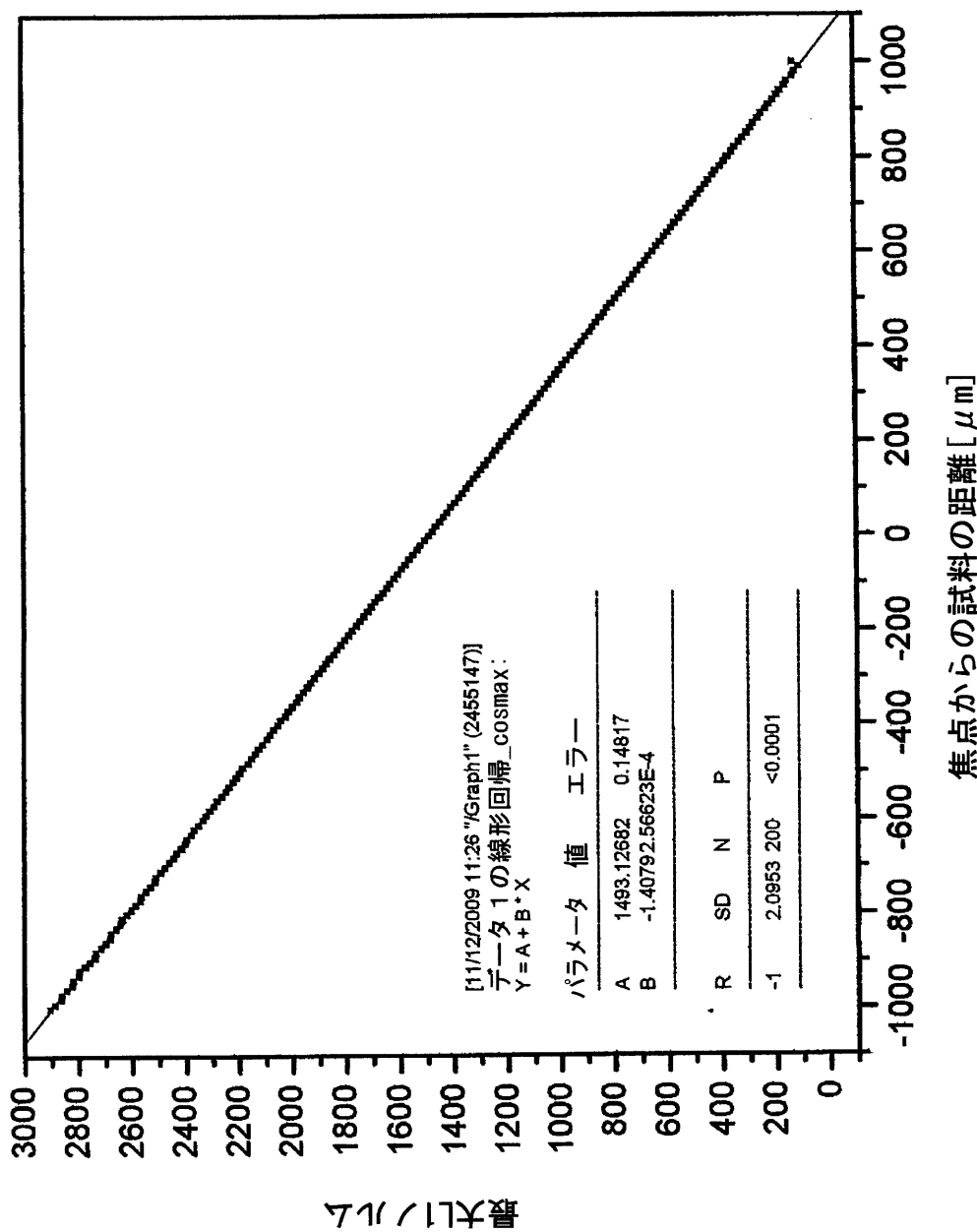
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 図 1 0 】



【 手続補正 3 】  
【 補正対象書類名 】 図面  
【 補正対象項目名 】 図 2 5  
【 補正方法 】 変更  
【 補正の内容 】

